自立支援協議会≪児童部会≫　活動報告

今年度の検討課題（テーマ）

令和５年度に引き続き、「保護者が就労している家庭の“支援が必要な子ども”の過ごす場を考える」をテーマに活動を行っている。令和６年度は、放課後児童クラブの職員を対象に、事前アンケートを実施し、その結果を踏まえて座談会を実施する形で検討を進めている。

出席メンバー

ぴこっと（部会長）	児童発達支援センター 第１松風園	はあとふるキッズ大和南	三ツ境支援学校
瀬谷支援学校	横浜ひなたやま支援学校	大和市教育委員会指導室	青少年相談室
こども・青少年課	すくすく子育て課	サポートセンター花音	大和市障害者自立支援センター
相談支援センター松風園			

開催日及び検討経過

令和６年４月 10 日	第１回児童部会ワーキンググループ(オンライン) 部会の開催に向けて、部会メンバーへの出席依頼、進行表作成、役割分担などの準備
令和６年５月 22 日	第２回児童部会ワーキンググループ(オンライン) アンケートの集計、現状や課題の整理、部会のすすめ方についての確認
令和６年６月 12 日	第１回　児童部会(ハイブリット形式) 今までの経過の確認と今後の進め方について検討

中間報告

・部会長の承認を行い、継続してぴこっとの山田氏が部会長を務める。
・令和５年度の経過報告と令和６年度の活動の見通しについて確認。
・令和６年９月に開催予定の座談会に向け、こども・青少年課から公設、民営(委託)の放課後児童クラブ職員向けのアンケートを作成し、アンケートの回答を待っているところである。また、座談会を実施するにあたり、部会員からもアイデアを募ったところ、「放課後児童クラブの職員からの困りごとから、関わり方を伝える機会になるといい」「放課後等デイサービスとは何かを知っていただく機会になるといい」「保護者の支援について話し合えるとよい」などの意見があがっている。

令和６年度の今後の予定

ワーキング：令和６年７月１０日(水)、８月２１日(水)、１０月９日(水)、１１月１３日(水)
　　令和７年１月２２日(水)、２月１２日(水)、３月１９日(水)
座談会：令和６年９月２７日(金)座談会(大和市保健福祉センター１Ｆ　ホール)
児童部会：令和６年９月１１日(水)、令和６年１２月１１日（水）座談会後の振り返り、次年度について

今年度の検討の成果（見込）

保護者が就労している“支援の必要な子ども”が最も多く過ごしているであろう、放課後児童クラブの現場職員から、話を聞く貴重な機会となり、そのなかで今後部会として何ができるかを明確にしていくことができる。

自立支援協議会≪地域生活支援部会≫　活動報告

今年度の検討課題（テーマ）
・障がいのある人及びそのご家族の高齢化に伴う地域生活上の課題を探り、障がい分野、高齢分野含め、地域の中で風通しの良い、連携の取れたスムーズな支援体制の構築を目指す。 ・あんしんノートのさらなる普及と活用のために、あんしんノート作成用ツールを作成する。

メンバー（敬称略）			
大和市肢体不自由児者父母の会（部会長）	大和市手をつなぐ育成会	大和さくら会	南林間地域包括支援センター
福田地区地域包括支援センター	カーサ柳橋	成年後見センターかけはし	大和市社会福祉協議会 生活支援課
大和市障がい福祉課	相談支援センター松風園	大和市障害者自立支援センター	サポートセンター花音

開催日及び検討経過	
4 月 16 日（火）	・年間スケジュールの確認（今年度の取り組みについて） ・地域包括支援センターとの連携（高齢分野との連携） ・あんしんノートの普及について（動画作成について）
5 月 21 日（火）	・地域包括支援センターとの連携（社会福祉協議会と地域包括支援センターとの情報交換会への参加について等） ・あんしんノートの普及について（動画作成について）
6 月 18 日（火）	・あんしんノート動画作成に向けた内容の確認 ・地域包括支援センターとの連携（高齢分野との連携）北部 4 包括との勉強会について
7 月 16 日（火）	・あんしんノートの動画作成に向けた継続検討 ・地域包括支援センターとの連携（高齢分野との連携）勉強会の継続検討

中間報告、
・高齢分野との連携：地域包括支援センターをはじめとして、高齢分野と障がい分野の顔の見える関係づくりを継続して進めていくことを確認。 ・あんしんノート普及啓発：あんしんノートの目的、あんしんノートの記入の仕方、活用方法などを盛り込んだ動画を作成し、普及啓発に努めていく準備を進めている。 ・家族向け勉強会：ニーズに合わせ実施を検討していく。

2024 年度の今後の予定
・高齢分野との連携：障がいのある人及びその家族の高齢化に伴い、中核機関との連携や大和市内の地域包括支援センターと顔の見える関係づくりを進めていく。 ・あんしんノートの普及啓発：障がい者週間事業までにあんしんノート作成用の動画をつくり、普及啓発を行う。

今年度の検討の成果（ 見込 ）
・地域の中で、障がいのある人及びそのご家族の高齢化に伴う支援体制を構築していくために、地域包括支援センターと障がい分野が互いの制度の違いやサービスについて理解を深めることにより、連携強化を図ることができる。 ・あんしんノートのさらなる普及と活用促進のため、ツールとしてあんしんノート作成用の動画を作り、障がい福祉サービス事業所や関係団体からも普及啓発ができる体制を構築していくことができる。

自立支援協議会≪精神保健福祉部会≫　活動報告

今年度の検討課題（テーマ）
大和市における精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの整備を目的とし、精神障がい者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療・福祉・住まい・社会参加（就労）、普及啓発、保健予防が包括的に確保されたシステム作りの構築をすすめていく

メンバー（敬称略）		
地域活動支援センターポピー（部会長）	やまとまと	大和さくら会
大和病院・総合支援課	森の家	あゆみの家
ホープ大和	ワーカーズ想	大和市社会福祉協議会
大和市立病院・地域連携科	厚木保健福祉事務所大和センター	相談支援センター松風園
サポートセンター花音	大和市障がい福祉課	大和市障害者自立支援センター

開催日及び検討経過	
4 月 25 日（木）	全体会：今年度の活動内容についての確認 〇大和市内資源の整理：地域アセスメント・資源の見える化
5 月 27 日（木）	〇全体会：大和市内資源の整理：地域アセスメント・資源の見える化 〇①住まい、②社会参加２つのワーキンググループに分かれ活動
6 月 25 日（木）	〇①住まい、②社会参加２つのワーキンググループに分かれ活動

中間報告
昨年に引き続き対面で部会を開催。地域アセスメントを行ない、情報の整理を進めた。整理を行う中で活動の継続が必要だと思われた①住まい、②社会参加について、今年度も２つのワーキングに分かれ活動を継続。①住まいにおいては、まちづくり協会との情報交換会を秋頃に予定。②社会参加では職員向け研修の調整を進めている。

2024 年度の今後の予定
〇全体会：資源整理のまとめ、包括支援係との意見交換会 〇ワーキンググループで活動 ①　住まい：まちづくり協会との情報交換会、勉強会についての計画・調整 ②　社会参加：職員向け研修の計画・調整、ピアサポーターについての情報収集、当事者活動のサポート

今年度の検討の成果（ 見込 ）
〇住 ま い：精神障がいのある方が住み慣れた地域で住まいを探せるよう、まちづくり協会との意見交換会を開催し、精神障がいに対する理解促進、当事者・賃貸業者（大家）との相互理解を深める。 〇社会参加：当事者の声を受け、個々の背景理解を含めた支援に繋がるような研修の機会、当事者活動の情報を集め当事者会のサポート体制の基盤作り。 〇大和市内資源整理をまとめ、精神疾患や精神障がいのある人の暮らしに関する普及啓発活動を行い理解促進を図る。